

a 学校教育目標	かしこく なかよく げんきよく	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション(自校の使命)】 自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン(自校の将来像)】 児童が満足する学校、保護者が安心する学校、地域が誇りに思う学校、そして教職員が生き甲斐や行き甲斐を感じる学校。
----------	-----------------	----------------------	--

評価計画					自己評価					改善方針	学校関係者評価				
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i	j	k 結果と課題の分析	改善方針	評 価			コメント
						h 達成値	h 達成値	達成度	評価			イ	ロ	ハ	
確かな学力	すすんで学び、よく考え豊かに表現する学力を育てる。	基礎・基本の学力向上	○主体的な学びにつながる授業の実施 ・対話的で深い学びを生み出す発問構成の工夫 ・ドリルタイムと読み上げ計算による基礎学力の定着 ・ICTの活用	【各種学力調査】 ①単元末テスト(算数)の正答率 85% ②全国学力・学習状況調査の正答率、全国平均以上 100% ③NRT(学力テスト)の正答率、全国平均以上 100% 【児童アンケート】 ①「算数の授業が楽しい」 85% ②「算数の授業がよく分かる」 85%	100%										
			○学習規律の徹底(4月中に達成) ・チャイムの遵守 ・学習環境の整備(机の上、筆箱) ・返事の定着(名前を呼ばれたら「はい」)	【児童アンケートの肯定的評価】 ①「授業の始まりと終わりのチャイムを守っていますか。」 ②「机の上や筆箱など、身の回りを整えて学習していますか。」 ③「名前を呼ばれたら返事をしていますか。」	95%										
豊かな心	地域を愛する心を持つとともに、夢や目標をかなえるための生活習慣を身に付けさせる。	完全不登校の根絶	○不登校の未然防止 ・年に2回実施するQ-Uを基に、構成的グループエンカウンターの実施 ・全職員による児童実態の連携実施 ・関係機関との協働的な連携実施	①不登校児童、9月末7人以下。1月末13人以下。 ②「学級生活満足群」に属する児童の割合65%以上。 「学級生活不満足群」に属する児童の割合8%以下。 「要支援群」に属する児童の割合2%以下。	100%										
			○挨拶あふれる学校づくり ・児童会役員による挨拶運動の実施 ・挨拶目標づくり、挨拶週間の実施、振り返り(学期に一回)	【児童・保護者・教員アンケートの肯定的評価】 ①「相手を意識した挨拶ができていますか。」	85%										
健やかな体	体力を高め、感染症予防に対する高い意識を育てる。	新体力テスト結果の向上	○運動能力の向上 ・運動量を確保する体育授業の工夫を共有化 ・4月と11月の長座体前屈計測で向上率確認 ・年間を通じて外遊びや縄跳びなどの啓発	【4月・11月の長座体前屈の記録】 ①県及び全国平均値以上	75%										
			○病気や感染症予防に対する行動の向上 ・ハンカチ持参の強化週間を設定 ・ICTを活用した手洗い方法の指導 ・授業や各種便りを活用した啓発	【ハンカチ点検】 ①ハンカチ持参率 【児童意識調査の肯定的評価】 ①手洗い実施、ハンカチ持参に関する肯定的評価	93%										
信頼される学校	地域や家庭の願いに応えるとともに、15年間を見据えた教育を行う。	働き方改革の推進	○時間外勤務月45時間以内を完全実施 ・月間勤務時間合計の確認、助言 ・行事、事務作業の計画、精選 ・教材の共有化	【超過勤務 月45時間以内】 ①在校時間一覧表による超過勤務平均時間 【教職員アンケートの肯定的評価】 ①「現在、生き甲斐や行き甲斐を感じることができている。」	90%										
			○地域に信頼される学校づくり ・年間計画及び、時期に応じた服務研修実施 ・1年に2回、保護者・児童アンケート実施	【児童アンケートの肯定的評価】 ①「田野浦小学校に通ってよかったと思いますか。」 【保護者アンケートの肯定的評価】 ①「学校は安心して子どもを通わせることができる教育を行っている。」	95%										

本年度の重点目標については◎印で示す

【j：自己評価 評価】
A：100≦（目標達成

B: $80 \leq (\text{ほぼ達成}) < 100$

【1：学校関係者評価 評価】
イ：自己評価は適正である。 ロ：自己評価は適正でない。
ハ：分からない。